

## 日本学術会議化学委員会(第25期・第5回)・企画分科会(第3回) 議事要旨

日時： 令和3年12月24日(金) 17:00-18:00

開催方法：ハイブリッド(日本学術会議6A-1会議室, オンライン)

出席者：相田美砂子, 岡本裕巳, 北川尚美, 君塚信夫, 菅原洋子, 関根千津, 玉田薫, 茶谷直人, 西原寛, 阿尻雅文, 川合眞紀, 高原淳, 中村栄一, 渡辺芳人(敬称略)

(欠席：菅 裕明, 所千晴, 加藤昌子)

### 議題および議事

#### 1) 前回議事録確認

前回化学委員会(第25期第4回)および化学企画分科会(第25期第2回)(合同開催, 令和3年6月8日(火))の議事要旨を確認した。

#### 2) 今後の活動方針と計画(分子研所長招へい会議)

次年度の分子科学研究所所長招聘会議のテーマ, 日程等について意見交換を行った。我が国における博士課程学生の待遇, 就職状況に関する議論, またそれに関連して, 新型コロナウイルス蔓延下における留学生や外国人若手研究者の状況に関する議論等を行う方向で検討することとなった。仮のタイトルとして「日本の研究人材育成を考える」とし, 政府で様々なプログラムに関わった担当者, 大学において各種のCOEや学生支援プログラムに関わった担当者, 学生として各種プログラムを経験した卒業生, 海外の大学に在籍する日本人研究者や海外と日本の比較を総括できる方, などを講師の候補とする提案がなされた。具体的な候補者があれば, 茶谷委員長に講演のテーマ(題材), 略歴等を送ることとした。

仮の日程として令和4年6月7日(火), 予備の候補日として同5月31日(火)を設定した。

会議録を報告か記録として残してはどうかとの意見があった。

#### 3) その他

西原委員から, 無機化学分科会において, 学術会議の任命拒否問題において, 化学系学会が抗議声明をほとんど出していないことについて懸念の意見があったことの報告があった。

関根委員から, 材料科学分科会において, 博士課程への進学, 就職に関する問題について, 意思の表出につなげたい, 博士課程の就職状況等に関する実態を伝える活動を学術会議全体にあげていきたいとの意見があり, その申請を提出する方向で検討していることの報告があった。この件については, 化学委員会の活動として実施したい旨提案し, 了承された。小委員会の立ち上げ等準備を進める。

相田委員から, 地方にある大学の活性化について, 材料科学分科会での議論と共通する部分があること, 他の委員会の動きも注視しつつ, いくつかの分野を巻き込んだ議論を通じて, 小委員会立ち上げも考慮にいれつつ取りまとめを進めたい旨提案があり, 了承された。

以上

関根, 岡本 記